磐城新聞
(二十日夕刊)
大祭日第一・第三日曜休刊
定價(壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢)
廣告料(一行五十錢(指定廿錢增))
發行兼編輯印刷人　福島縣平町田町拾六　蓮沼龍輔
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

八百圓以上を納める 石城郡の資格者

諸橋氏を筆頭に十九名 稅額順の氏名

吉野周太郎氏の貴族院議員辭職により明春二月行はるゝ貴族院補缺選擧が直接國稅八百圓以上を納めるものが互選資格となるらしく見られて居るが目下石城郡に於ける八百圓以上の直接國稅を納めつゝある人々は十九名で之を稅額順に示せば左の如くである

△一萬一千百四十圓平町諸橋久太郎△五千五百六十五圓六十錢豊間村阿部彦次△三千九百三十六圓四十五錢内郷村馬目太郎△三千二百四十二圓十二錢平町山崎與三郎△三千十一圓九十二錢和泉村江尻博孝△二千三百三十三圓五十六錢平町百澤興易△一千八百二十四圓八十七錢平町安部由三郎△一千七百十三圓六十八錢勿來町大平睦四郎△一千八百九十二圓七錢内郷村加藤丈夫△一千三百九十四圓草野村高岡唯一郎△一千二百十九圓小名浜町小野晋平△一千六十圓七十二錢平町丸山慶次△一千二百二十六圓八十六錢平町井正茂△九百八十圓十六錢平町中野勇吉△九百六十二圓三十錢勿來赤津庄兵衛△八百九十一圓七十八錢下小川村草野時次郎△八百四十九圓九十八錢川都村小玉萬利△八百三十八圓六十三錢平町堀井正直

藤原川改修 促進運動

縣會前の奮起

石城郡磐崎村地内藤原川は増水毎に氾濫し沿岸の被害莫大なる處より多年の懸案として縣に改修方を陳情しつゝあるが未だに實現せぬので隣町小名浜は商港となる折柄村民に躍起となつて運動を續け明年度には是非とも實現せしむる意氣込み

各町村で 大ばやり

各種の品評會

石城郡内町村では農作物の改良を圖るために農閑期を利用してそれ〴〵品評會を開催しつゝあるが上遠野、入遠野兩村聯合農産物品評會は十七日上遠野小學校に於て開催、大山技師審査をなし、大野村農産品評會は來る二十日同村小學校に於て、山田村農會主催同村農産物品評會は二十一日から三日間同村小學校に於てそれ〴〵開催する由であるが品評會を開催する都度に研究し參考になるのは郡農會も之が開催を奬勵してゐる

九日植田町に古川縣議を歴訪縣會を前にして種々促進の陳情を計つた

火の手益々擴がる 大浦消防の紛擾

今度は政黨問題化して 成行き注目さる

石城郡大浦村消防組の幹部ことゝなり五ヶ條件を附し推薦問題は遂に政黨問題化し組員の復職方を消防幹部に提示したところ幹部側で一蹴したので今度は部落民が激昂し同地の消防機械器具は全部字で購入したものだから組へ貸與されぬ機械一切を組より取返し私設消防を組織したので組幹部で目下鋭意催促して圓滿解決に計る

讀者欄

修養の實踐法

惡太郎生

修養と云ふ語は昔は一部の人しか知らなかつた熟語であつたが近年に至つて大い流行し今日では熟語である。既に大流行の語となつて居るから、修養に關する雜誌も多く著書も夥しく出版されて居ることは大に喜ぶべき事である。

然し此の修養といふことを世人は居れば居るといふ譯のものではない。修養とは實地に身を修めて實行すべきものであつて、實行を云ふのは必ず今日に在るべきものである。

例へば修養は食事の如きものである。人は必ず毎朝洗面する、これ程實行的の學はない。洗面には昨日の顏を洗ふと云ふ愚人もなければ、また明日の顏を洗ふつて暮くといふ狂人もあるまい。洗面は今日洗ふのであつて明日洗ふのではない。修養とは實際洗面するといふ洗面の實行は、必ず今日せざれば實實の洗面とはならぬ。

修養もまたさうで必ず今日に於て實行せざれば眞の修養とはならぬ、又修養は一日三度の食事の如きものである、食事程實行的のものはない食事をするに當つて昨日食事したから今日は三度とも止めて置かうと言つて、これを止めて置かれたものではない食事は昨日食事したからとしてもそは昨日の食事であつたので、今日の食事は今日必ずせざれば飢て仕舞ふ。

これと同樣に今日食事したから、明日以後は食事を廢してもよいと言つて居ねば食事は毎日必ず行はねば、この體も生命も維持して行くことは能はぬ。

修養も亦この食事の如きものであつて今日の修養を實行して續けて行くべきで、決して今日を忽にすべきものではない故に修養つて暑くといふ狂人もあるまい。

平に運動場設置計劃

早晩に實現

平地方におけるスポーツ熱は最近非常に昂んになつて來たが現在の平町には適當な運動場がないため一般スポーツマンは何づれも遠く縣社子鍬倉神社に於いて催しとしグランド設置を叫んで居たが愈々磐中卒業者が一大送別會を開催する事となつた

六萬人に給水出來る 上水道擴張案

大平町建設の第一歩に けふ平町委員會

平町土木委員會は一十日午前十時より水道課樓上で開き全町上水道擴張工事に關し協議したが豫算は三十餘萬圓で起債、補助等が通過すれば直ちに起工し竣工の上は人口六萬人一給水し得る設備を完成する大平町建設の一大要素にして重大火急の懸案であるが何れ町財政逼迫の折柄相當困難の伴ふ事であり委員間に於て詳細調査の上何れ決定を見る豫定である

平藩主法會

二十三日良善寺で

薇平藩主安藤信昭子爵は來る廿三日平町古鍛冶町良善寺に於いて先代の十三回法會を執行する爲め明廿一日から平する尚法會當日は磐平藩士四百餘名全部の列席を

「イヤ、成程、彼た侍の話では那麼嘘を言つてゐのが今になつて考へると彼箇ア呑な嘘だ嘘を吐きやアがつて此方等をかついたんだ。第一梅さんの殺される所を見た譯ぢやアないから學會の所が解らないぢやアないか」

と梅の事からかけ落したことをそれを探す爲に鎌倉の尼寺にまで出掛けたことを話して

「恰どその歸途に、六郷の渡にかゝつて奇川の眞中へ舟が出たといふ時分だ。向ふ川岸から來た乘合舟の中に梅さんが乘つてるぢやアねえか」

「何、梅が？ヘエ！」

「衣裳は確か松阿木綿よ。それに淺黄の手甲脚袴で道中差が一本、手拭を吉原冠りにして、眞田紐のかゝつた風呂敷包を背負つて菅笠をその上に飛ばしてゐる樣子がマア何だ、よく越中の富山から出て來る藥行商見てねでな」

「ム！」

「その背形好から顏の工合かす分違はねねから、俺アびつくりしたらうざやねえ」

「それやアそうだが、一躰か」

「ちよいと待ちな、よく有た前さんは如何してそんな事を言張るんだ、何ぞ活きてゐるといふ確かな證據でも抑へたのか？」

「私も始ゆはそうかと思つたんだが、よく見ると眞物なんだ」

「おやア幽靈だ、アよく出る男だ、昨夕もな、オイ與平さん俺の枕頭に出やアがつて、頭、口惜しいッと吐すだらう、渾身中血だらけ眞紅になりやアがつて、肋骨の白いのが一枚々々數へられるんだ、俺アぞつとしたか、アー道理だ、口惜からうが我慢をしな、今に仇を執つてやるから、と云つたらプッと消えた、消ねる途端に目が覺めたがそれは夢よ」

「アハ、氣にしてゐるどそんなもんだ、夜なら幽靈も聞えてるが、太陽さまの出る間に戸窓しをして出やアがる幽的もないもんだ」

「さア、それがソレ、國迂々々しい野郎のこつたから人見知をしないで、ね太陽さまの前も憚りなく……」

「笑かしちやア不可ねえ、そこで餘り變だから、モシ〳〵梅さまぢやございませんかと聲を懸けると、先方も驚いた樣子で、アー日外の仲間さんか、雪江さんに宜しく、どこういふ挨拶だ、查日中口をきく幽靈てねのアー前代未聞だせ」

「ヘエ！變だなア」音は腕又の首を傾けた。

幕末秘話 狂怒乱心

(93)　渡邊默禪作　宮野歌春畫

併し容易に信ずる氣色がない、與平は如何說いたなら眞に承けて呉れるかと苦心して。

▲一白　一難來る毎に英氣を增す樣に勵むべし▲二黑　競爭的に出るは失敗のもと飲食も注意すべし▲三碧　進むべき位置に居ながら引立の緣に薄き日▲四綠　運氣晴れやらぬ日にて進むこと宜しからず▲五黃　心中動搖して迷ひを生ずれば運氣傾くべし▲六白　小流れも集まれば末は大河となるを忘るゝな▲七赤　天運次第に廻り來る機を逸せぬやうにすべし▲八白　筋目正しく辛苦に屈せず復活の時を待つべし▲九紫　愁眉を開き來る然れども油斷すれば又塞がる

軟式庭球

カップは勿來へ

石城郡第一區体育會では十八日午前十時より植田小學校庭において今回金成通氏寄贈の優勝カップ爭奪の第一回軟式庭球試合を行つ參加十四組で決勝戰は植田校兩齋藤對勿來校小野手代木組となつたが植田組惜今日必ずせざれば飢て仕舞ふ。

藥品價格協定

菊多藥業組合

石城南地方の藥種商より成る菊多藥業組合では最近藥品價格が全く區々にて營業の一大要素にして重大火急の懸案であるが何れ町財政逼迫の折柄相當困難の伴ふ事であり委員間に於て詳細調査の上何れ決定を見る豫定である

鷹崎氏祝宴

光榮を全生徒に

平町々會議員にして石城產業看護婦學校長たる鷹崎貞衛氏は千代子夫人と揃つて今回の御大典に賜饌の光榮に浴したので同氏は此の光榮を分つべく祝宴を催し同校生徒全部を招き此の光榮を分つべく祝宴を催したと

理髮業界視察

石崎氏京阪へ

平町田町大床主石崎幸氏は本縣理髮聯合會が理髮學校設立準備の爲め來る廿七日午前十時から阪、京都方面の業界視察の爲め外三名の御會員と共に二十日出發した

平入營兵送別

平町では來る廿七日午前十時から江さまが一

外科　外科一般　耳鼻科　花柳科
婦人科　婦人科　產科
X光線科　内科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

新製品着荷御案内
優美典雅な御大典記念時計が種々着荷致ました
記念として永久的な御贈答品に最も良く値段も三圓より拾圓位迄御散歩の折柄是非御立寄御覽を願上ます
大谷時計病院　院長敬白　電話一九番

セビロ
オーバ
コート
マント
トンビ
女學生オーバ
平町停車場通り　正札堂

宮内省御用達
ヒゲタ醤油
醸造元　銚子醤油株式會社
平町田町
特約店　廣瀬支店
電話五四番

カマボコ
原料精選——品質佳良
特別廉價——配達迅速
多少に抱はらず御用命願上げます
電話八二七番
鮮魚仕出　吉田かまぼこ店
平町田町大通り

吉田眼科醫院
平町田町

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
醤油醸造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフエー幸樂
平町六丁目　電五三九番

夜診
胃腸科　内科　十二指腸虫病
專門部　内科
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病
專門部　外科
平南町　大村病院　電話七〇一
晝間療

平銀行の合併とともに
磐城銀行の開業も間近
漸次平定する石城地方の財界
『狐につまゝれた樣な七十七平支店の昨今』
預金者側も冷靜沈着

平銀行休業に依る其の後一般預金者の動靜を見るに平銀行が大戸を卸ろしたる十九日朝來は流石一脈の不安な氣が流れ七十七銀行平支店を初め百七其の他の各行にては預金を引き出す人々で平常よりは忙殺を見たものの二十日に至つては全く平常に復し七十七平支店の如き仙臺市の本店から急電して取り寄せた

百萬圓近の札束と銀　々後援の爲め特派された二名の行員が手持ち不沙汰の有樣で由田支店長、三浦次長以下些さか狐につまれた形となりナアーンの場だと調子抜の態となつてゐる

が平銀行と常盤銀行との合併　は目下三宅常盤銀行支配人の手に於て平銀の資産內容を調査中にあり其の結果常盤銀行の評價する平銀の純資產內容が平銀當局の承服出來る程度のものであれば合併問題は容易に速進される平銀行當局の希望を

實現する事となり萬　一豫定期間たる一ケ月以內に右合併が出來ぬ場合もつたとしても何れも途かにより配布する處ろあつて更正し同行本來の指命

義務を果すべき然かも熱誠なる重役の覺悟あるは之を疑ふべくもなく一方磐城銀行も目下更正の一途に向つて努力奔走し某々方面との或る種の形式的の諒解を得れば開業し得る程度に進行し白井專務外各重役は目下頻りに奔走中にして之れまた遠からず開業の運ひに至るべきは既定の事實として長く

動搖し來たる石城地　方の財界も早晩全く安定し寧ろ先前の失れよりも基礎の强固な有力銀行が出現するものと觀測され一般預金者も極めて平靜に時の到來を待つものの如くである

植田地方は極めて平隱
平銀行の影響

植田地方に十九日朝平銀休業の報到るや從前より種々取沙汰もつたとは言へ同地方は平方面の影響殆んど皆無といはるゝ磐東銀行があり且常盤銀行出張所等あり平銀と取引極めて尠き關係上反響薄く磐東常盤などの强固なる有力銀行が出現するものと觀測され一般預金者の靜ひさを見せてゐた

御深慮は理ながら
當方至つて健在
流言蜚語に迷はぬ樣
磐東銀行で聲明

銀行の休業が及ぼす本郡南の金融界は極めて平穩であるが植田町磐東銀行では今回平町所在株式會社平銀行に於いては他の有力銀行と合併準備の都合上突如休業致され候結果巷間徒らに流言蜚語をなす者有之一般御取引先各位

おかせられては事情判明せさる爲め或は御深慮の向きなきにしもあらずと被存候へ共も常行は如何なる事情生ずるも誓て休業等を爲さざる決心を以て重役行員協力一致平常の通り業務精勵致り在り候間絕對に御安神の上從來に倍し御眷顧御取引被成下樣願度御報告旁御願申上

侯時節柄御自愛切に奉祈上候　草々敬具

拾一月拾九日

赤井村の粘土に
多量のアルミニューム鑛
化學試驗で發見し
疾くも會社計劃

石城郡赤井村及小川一帶から採掘されて居る粘土は品質に於て種々協議されてゐる、永久性で確實のものと決定されるに於いてはアルミニューム製造工場を建設すべく既に話が進み永久性のものか否かにつき調査を進めてゐるからこれか最後の程度に達し非常に注目を惹いてゐるが我國に於て地中から採掘されて居る粘土はアルミニュームを製造し居る所は二三ケ所に過ぎず從つて同所のアルミニュームが永久性のものと判明すれば我國の工業界に一大貢獻をなすべく期待されて居るが同時に工業界に大センセーミョンを捲き起すものと觀測されて居る

カフエ千鳥
三人組賭博
小名濱で檢擧

小名濱町字定西荷馬車業菅原安太郎(三六)同町西洋料理カフエー千鳥主人吉田豐吉(三五)同町會社員上妻昇(三五)の三名は前記カフエー千鳥に於て前後數回に亘り花合賭博を開張してゐたが此の程平署の探知する處となり非現行犯として檢擧

株式會社磐東銀行
頭取　江尻博孝
專務取締役　金成通

運轉手逃走

平署へ搜査願ひ

平町才槌小路菊地自動車店運轉助手上小川村生れ加藤順一(三三)は去十八日午後十一時半頃自動車料金其の他同僚の時計靴等を持出し家出行方を晦ましたので今二十日平署に同人の搜査方を願出た

石城民政黨幹部の赤恥
此の非常識と低劣を見よ

目下小名濱派出所に於て檢警部補手に依つて嚴重な取調を受けてゐるが共犯も多數あるらしいと

石城民政黨では來る二十七日の演說會に十七日永井柳太郎氏を招き平町と十七日石城民政黨の政談演說會を開くが會社の公休が二十五日では聽衆も少ないし折角永井氏の手前もあるから二十五日の公休を二十七日に變更して貰えたいと懇請と云ふよりも

寧ろ抗議的態度で　談合を申込むや「磐城炭礦の公休は民政黨の演說會を黨幹部の非常識加減を問はせるのが目的でないか」と斯くの如き交渉は郵便局へでも待ち込むでは如何で惜しげもなく露け出し社會の嘲笑を購ふ」と耶論混りに拒絕され

流石民政黨大幹部スゴ　〜〜

石城民政黨幹部は平町の公休が民政黨の政談演說會を開くのは役目柄當然のこととするも同地磐城炭礦の定期公休日は來る廿五日であるので二十七日の演說會に及ぼす影響を惧れてか右武柳太郎氏を磐城炭礦會社を訪問し「二十七日石城民政黨の政談演說會を開くが會社の公休が二十五日では聽衆も少ないし折角永井氏の手前もあるから二十五日の公休を二十七日に變更して貰えたい」と懇請と云ふよりも

寧ろ抗議的態度で　談合を申込むや「磐城炭礦の公休は民政黨の演說會を黨幹部の非常識加減を問はせるのが目的でないか」と斯くの如き交渉は郵便局へでも待ち込むでは如何で惜しげもなく露け出し社會の嘲笑を購ふ」と耶論混りに拒絕され

流石民政黨大幹部スゴ　〜〜

石城民政黨幹部は平町の公休が